

相談支援班からのおたよりです



令和6年 3月5日発行

岩戸支援学校 支援連携グループ相談支援班



3月は冬と春の境目の季節です。月初めと月末では気候も大きく変わり、桜が咲き始めると、一気に春らしさが増してきます。そして、まもなく卒業式。学校で学んだこと、友だちとの出会い、様々なイベントなど、たくさんのが思い出されるタイミングです。今は気づかなくても、いつかきっと、「青春だったなあ」と感じる日が来ると思います。一日一日を大切に過ごしてくださいね。

新生活に向けて ～今一度、ふいかえってみよう～

4月から社会人となる3年生、進級して一つ学年が上がる1・2年生、ともにこれまでとは少し違った新しい生活が始まります。3年生は新社会人として気を付けるべきこと、1・2年生は上級生として、また、自分の将来設計を考えると、同じキーワードが現れます。そしてそれは、今まで皆さんが学んできたこと、そのものなのです。トラブルのない充実した生活をおくるために、今一度、振り返ってみてください。



- ◆挨拶を忘れない……………人間として大切なマナーです。
自分から進んでできるようにしましょう。
- ◆時間を守る……………時間にルーズな人は信用を失います。
遅刻するということは相手の時間を奪うことにもなります。
- ◆身だしなみを整える…清潔感が大事です。
- ◆言葉遣いを意識する…大人としての正しい敬語を身につけましょう。
- ◆とにかくメモをする…頭で理解したつもりでも、すぐに忘れてしまうのが人間です。
教えてもらったことや気づいたことをメモする習慣をつけましょう。
メモによって頭の中が整理され、記憶にも残りやすくなります。
- ◆報連相を心がける……怠るとミスが起きやすくなります。トラブルになる前に報告や相談が必要です。
- ◆整理整頓をする……………散らかっていると周りからだらしく思われます。
集中力も落ちてしまいます。
- ◆電話対応になれる……電話では相手の顔が見えません。だからこそ丁寧な対応が必要です。
- ◆自主的に動く……………他人任せではやる気がないとされることもあります。
勝手な行動はいけませんが、自分で考えて動くことも大切です。

新年度までの間に不摂生をしないよう、起きる時間や寝る時間を一定にして生活のリズムを整えましょう。身体も心も健康に過ごせるはず。すべては自分のため、夢をかなえるためです。応援しています！

令和5年度 相談支援班のまとめ

◆外部機関との関わり

児童相談所や障害福祉課との関りでは、ケースカンファレンスの実施や情報共有、学校が知りたい情報を提供していただくなど、密に連携をしました。横須賀市のサポートブック提供や、相談支援事業所とのつなぎをお願いするなど、連携は多岐にわたりました。

また、行政に加え地域の相談支援事業所や福祉事業所、当事者、保護者の皆さんと、移動支援をはじめ、地域に関する課題についての協議を行いました。

外部機関と連携して22件のケースカンファレンスを実施しました。



◆巡回相談について

特別支援学校のセンター的機能として、地域の学校に出向き、特別支援学校の持つノウハウをもとに困り感についての助言などを行う役目があります。岩戸支援学校は主に中学校と高等学校を担当し、小学校以下は武山支援学校が担当しています。また、各市の教育委員会と協働で行うチーム巡回相談を行っています。令和5年度に巡回相談を実施した学校は、チーム巡回相談を含め14校です。(複数回巡回している場合は1校に数えています)

また、他の特別支援学校に依頼し、心理士や言語聴覚士などの専門職に巡回していただくこともありました。A部門では摂食指導や車いすの調整などをお願いしました。

◆特別支援学校地域センター推進協議会 横須賀・湘南東部ブロック会

今年度、横須賀・湘南東部ブロック会では岩戸支援学校が取りまとめをする代表校でした。4回開催したブロック会では、各校のグループリーダー、コーディネーター、専門職に分かれての分科会や事例検討会のほか、情報交換、ブロック内の課題についての協議をしました。他校の取組を知ることで、本校でも活用できることが考えられます。年2回開催される全体会では、さらに多くの情報を得ることができました。対面式での協議会が多くなりましたが、チャットを利用した情報共有なども随時実施しています。

◆校内の取り組みから

校内のケース会のほか、昼休みの相談を実施しました。悩みを抱えていたり、とにかく話を聞いてほしい生徒がたくさんいます。そうした状況に寄り添えるよう、これからも取り組んでいきます。

また、毎月1回「相談班からのおたよりです」を発行しました。学校を取り巻く様々な課題に焦点をあて、「読んでいただくことで、トラブル回避などに繋がればとの思い」で、必要な話題を提供してきたつもりですが、保護者の皆さまのニーズに合っていたでしょうか。今後のお便りに活かすべく、ぜひ「こんな情報が知りたい」というご要望をお寄せください。

追伸です。横須賀市のサポートブックについての話題提供後、横須賀市から取り寄せていただいたり、作成を進めてくださった保護者の皆さま、ありがとうございました。